

登録実践研修課程 公開シラバス

科目番号	研30
------	-----

授業科目名	単位時間数	講師名	所属
実践研修A1	22	岡山外語学院 人材育成部 常勤講師	
到達目標	・ 文法項目の理解、担当課のねらいの把握、学習者をひきつける授業、誤用の予測と対処、クラスコントロール、トラブル処理（予想外の質問、授業とは無関係の質問、私語などへの対処）が十分にできるように授業の準備ができる。 ・ 教案を完成させ、模擬授業を経て、単独で外国人学習者クラス（A1レベル）の授業を行うことができる。 ・ 日本語教員として必要な資質の面での自分の強みと弱みを知り、「日本語教師【養成】に求められる資質・能力」を理解している日本語教員として、自分が行った授業を客観的に分析し、次につなぐ改善を考えることができる。		
授業の概要	実践研修コアカリキュラムに則り、授業科目として、「日本語教師【養成】として求められる資質・能力」と実践研修との関りを明らかにするオリエンテーション、教科書分析・授業課分析（A1レベル）、授業見学と授業の分析、日本語学校における留学生に対する日本語教育プログラム・カリキュラムを理解した授業準備、教師役としての模擬授業と振り返りを実施する。 そして日本語教員として実際に授業ができるように、養成課程などや自ら学んだことなどの総仕上げとして、実際の外国人学習者（A1レベル）を対象とした教壇実習を行う。教壇実習後に振り返りを行い、受講生が一連の流れの中で自身の成長を見出し、また自分の強みと弱みを理解し、改善点を常に考える進化する教育者となる道筋をつける。		

科目番号	研31
------	-----

授業科目名	単位時間数	講師名	所属
実践研修A2	22	岡山外語学院 人材育成部 常勤講師	
到達目標	・「実践研修A1」での反省を踏まえた上で、文法項目の理解、担当課のねらいの把握、学習者をひきつける授業、誤用の予測と対処、クラスコントロール、トラブル処理（予想外の質問、授業とは無関係の質問、私語などへの対処）が十分にできるように授業の準備ができる。 ・教案を完成させ、模擬授業を経て、単独で「実践研修A1」とはレベルの違う外国人学習者クラス（A2レベル）の授業を行うことができる。 ・「日本語教師【養成】に求められる資質・能力」を理解している日本語教員として、自分が行った授業を客観的に分析し、次につなぐ改善を考え、実践研修コアカリキュラムに沿った形で自律的に成長していくために、実践研修全体総括を行い、内省して出てきた反省点について改善を図って実行していくことの繰り返しを続けることができる。		
授業の概要	実践研修コアカリキュラムに則り、授業科目として、オリエンテーション、教科書分析・授業課分析（A2レベル）、授業見学と授業の分析、日本語学校における留学生に対する日本語教育プログラム・カリキュラムを理解した授業準備、教師役としての模擬授業と振り返りを実施する。 そして日本語教員として実際に授業ができるように、養成課程などや自ら学んだことなどの総仕上げとして、実際の外国人学習者（A2レベル）を対象とした教壇実習を行う。教壇実習後に授業の振り返りと実践研修全体総括を行い、受講生が自身の成長を確認し、また自分の強みと弱みを理解し、改善点を常に考える進化する教育者となる道筋をつける。		